

森のお便り 5月号 2018年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」18年5月1日発行 通巻183号

★森のおはなし探検隊★

お子様から大人の方まで楽しめるプログラムを月替わりで開催中の～森のおはなし探検隊～

今月のテーマは、「母の日・プレートづくり」です。

5月13日は、母の日

いつもお世話になっているお母さんや、母の日に感謝を伝えたい人へのプレゼントを一緒に作りませんか？

紙皿にメッセージを描き、リボンや木の実で飾ったプレートを作ります。

みなさんはどんなメッセージを伝えたいですか？

たくさんのご参加をお待ちしています！

☆日 時：5月13日(日) 13:00から14:00

☆集合場所：子どもホール2階

☆参加費：無料（別途要入園料）

★キーパーズトーク「キリン」★

今回は、「キリン」どんなおはなしが聞けるかなマリアとトーマの3番目のこども、女の子のミモ。

スクスクと元気に育って、3月27日で1歳を迎えました。

そんな赤ちゃんの成長記なども聞けるかもしれません。

他にも様々なキリンの生態など、飼育スタッフが解説していきます。飼育スタッフに質問もOKですよ！

日 時：5月の土日・祝日 11時30分～11時45分頃

開催場所：「草原の世界」キリン運動場前

『到津の森と木の動物たち

～ チェンソーカービング 林隆雄展 ～』

今年の春の企画展は、林隆雄氏による、豪快、そして、繊細なチェンソーカービング。

チェンソーカービングとは、チェンソー（木を切る道具）だけで、木材（主に丸太）から、彫刻作品を制作するものです。

そして、企画展のために、丸太から、動物たちが飛び出してきました。

題して『到津の森と木の動物たち』。飛び出してきた木の動物たちは、姿見の池周辺を中心に、園内各所に展示します。

- 期 間 5月31日(木) まで 9:00～17:00
- 開催場所 姿見の池周辺を中心に園内各所
- 参加費 無料 ※入園料は必要です

林隆雄氏が、チェンソーだけを使って、一本の丸太から動物を生み出す！どんな動物が飛び出してくるかな？

ぜひ、ご覧にお越しくださいね。

【チェンソーアーティスト 林隆雄 プロフィール】

山口県山口市在住。

2002年より、チェンソーカービングを始める。

2015年・2016年 U.S.OPEN CHAINSAW SCULPTING CHAMPIONSHIP
メインカービング優勝

2017年 第17回日本チェンソーアート競技大会
in 東栄(愛知県) メインカービング優勝

他にも、チェンソーアートの大会で数々の賞を受賞。

詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のなかま・アムールトラ

ライバル出現!?

暖かな春の陽気が続くこの頃、のんびりお昼寝をして過ごしていたアムールトラのミライ。そんなある日、気になる存在が現れゴロゴロするどころではなくなったみたいです。その相手とは3月17日から開催中の企画展「チェーンソーカービング」の作品の1つである大きなネコです。トラのガラスビュー前に突然現れた見たこともない大きなネコ。ミライは運動場に出た途端すぐにライバルの様子をじっと見つめ、時々勝負を挑みに行きます。

暖かい日は木陰ですやすやと寝ていることが多いミライですが、ライバル出現後はガラスビューの前にずっと張り付いていたので近くで姿を見ることができました。しかし、勝負を挑みに行きすぎてガラスビューはすぐに砂と泥で汚れてしまい、ドロドロに。肝心なミライがよく見えません。ライバル出現でちょっぴり楽しそうなミライでしたが、大きなネコには別の場所に移動してもらいました。ミライはライバルの姿が見えなくなった今でも姿を探して草むらに身をひそめています。ガラスビューの前に居るみなさん、もしかしたら後ろを振り返った途端に勝負を挑まれるかもしれませんよ。



飼育展示係 川口 莉穂

爛漫の花咲く春も過ぎはや五月、初夏となりました。「到津の森公園」の植物たちもますます色濃く、爽快さと共に力強さが感じられるようになりました。

北ゲートからあるいは南ゲートからでもメイン道路を行くと、ちょうど同じくらいの距離にリクガメさんのケージが見えてきます。いつもたくましくワシワシ野菜を食べる姿は、みていてあきません。

そしてケージのすぐ傍にナツツバキが咲き始めています。

株立でスラリとした樹形、若葉も美しくその葉影にツバキそっくりの白い花別名“沙羅の木”“このいわくありげの名前を聞くだけで気になって幼いころからめぐり会いたいものと憧れたものでした。

平家物語の冒頭「沙羅双樹の花の色盛者必衰の理を表わす」が有名ですね。

インドでは佛陀が最後の床を沙羅の木の下にとり、入滅されたと伝えられています。薄黄色の小花が群れ咲くもので、何故日本でナツツバキの別名とされるのかははっきりとは解ません。

ナツツバキの花は径六センチくらい、五枚の白い花弁は不規則な鋸歯（ギザギザ）と皺（ドレープ）で縁取られた個性的で得も言われぬろうたけた美しさに惹かれます。

秋に実る先の尖った実も可愛らしく、中の種子を採りきるとよく発芽するとか。

山中の自然林を行くときたまたま花咲くナツツバキの群れに出会えたら…。

おばさんの見果てぬ夢はおいときましょう。

例年厳しくなる夏の暑さと乾燥に負けず、いつまでも園内で美しい花を咲かせてほしいといのります。

花 暦 皐 月

文：花咲くおばさん